

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	こころの健康づくり普及啓発事業	所管	保健福祉部 成人保健課
			Tel 2991-1811

事業の目的 (何の為に 行うか)	精神障害及び精神障害者に対する正しい知識の普及を図り、精神障害者及びその家族が健やかに暮らせる地域社会づくりを推進する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	一般市民、障害当事者、その家族及び関係機関の職員並びに関係団体等のメンバー	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	1,675	人

活動の内容	(何を したか)	要望、相談の多い精神障害をテーマに「講演会」、「研修会」、「つどい」を開催した。 ①こころの健康講座(自死者の心理と遺族のケア・アルコール依存症・ギャンブル依存症・うつ病とはどんな病気か?・強迫性障害講座・パニック障害講座・統合失調症講座)延べ15回開催。参加人数589名。 ②精神障害者による「こころの美術展」(12月18日～20日。市民ホール。957名の市民が鑑賞。) ③精神障害別の「つどい」(うつ病のつどい・うつ病夜のつどい・自死遺族のつどい・強迫性障害のつどい)延べ30回開催。参加人数194名。							
		活動実績	項目名	参加者数	1675	項目名	開催回数	38	項目名
			-----	人		-----	回		-----

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	340	360	11,633	34.3

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者数	講演会等の参加目標人数に対する参加実人数	800	1717	214.6
			-----	-----	-----
			単位 人	単位 人	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	040900	ℓa	2991-1811
040914	こころの健康づくり普及啓発事業	保健福祉部 成人保健課	グループ	精神保健担当		
開始年度 平成 8 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
	分野別計画・指針		精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年5月法律第123号)
	関連・類似事業		
	総合計画の体系	政策 第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち 施策 6節 保健・医療 中柱 2 生涯を通じた健康づくり 小柱 (6)心の健康づくり事業の推進	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 11 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		
	コード 1111 市民の知りたい情報の提供	コード 1321 窓口満足度の向上	コード 3261 事務事業見直しの推進
	事業開始の背景	本事業は、平成8年度から埼玉県(所沢保健所)との共同、共催事業として開始したが、平成14年度の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正に伴い、市の所管となった。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	精神障害及び精神障害者に対する正しい知識の普及を図り、精神障害者及びその家族が健やかに暮らせる地域社会づくりを推進する。
	対象(誰を、何を対象としているのか)	一般市民、障害当事者、その家族及び関係機関の職員並びに関係団体メンバー
	対象数	平成 18 年度 337,883 人 平成 19 年度 339,058 人
	利用数	平成 18 年度 957 人 平成 19 年度 1,675 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	要望、相談の多い精神障害をテーマに「講演会」、「研修会」、「つどい」を開催した。 ①こころの健康講座(自死者の心理と遺族のケア・アルコール依存症・ギャンブル依存症・うつ病とはどんな病気か?・強迫性障害講座・パニック障害講座・統合失調症講座)延べ15回開催。参加人数589名。 ②精神障害者による「こころの美術展」(12月18日～20日。市民ホール。957名の市民が鑑賞。) ③精神障害者の「つどい」(うつ病のつどい・うつ病夜のつどい・自死遺族のつどい・強迫性障害のつどい)延べ30回開催。参加人数194名。

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	精神障害別に、よりきめ細かい「講座」・「つどい」を開催することができた。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		265	340	340
	決算(見込み含む)		265	360	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	0.96 人	8,832	1.20 人	11,273
	公債費				
	事業費合計		9,097	11,633	
	財源内訳	一般財源	9,097	11,633	340
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		26.9	34.3	
	利用数一単位あたり(単位:円)		9,505.7	6,945.0	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	参加者数	講演会等に参加した者の人数	人	957	1,675	1,800	
		開催回数	講演会等の開催回数	回	15	38	30	
	成果分析	参加者数	講演会等の参加目標人数に対する参加実人数	人	目標値	750	800	1,800
%				実績	957	1,717	突精値の拡大を図る1 突精値の縮小を図る2	1
				達成率	127.6	214.6		

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業 <input type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	18年度において、講演会等のテーマについて、幅広く市民要望を受け、19年度に事業を実施した結果、参加者も大幅に増加した。さらに、市民、関係者及び団体の要望を活かしながら事業展開をしていく必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	精神障害別の講座等については、従来の講座の他に摂食障害、人格障害、てんかんの講座を新たに開催する。	各新規講座を、年間2回～3回開催する。	平成20年度中	
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
評価理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	精神障害に関する正しい知識の普及啓発については、年々市民の関心も高まっており、そのニーズに応えるためにも、さらにきめ細かな普及啓発事業が必要である。特に、健常者の精神障害に対する理解と認識を深めることは、精神障害者やその家族にとっての住みよい地域づくりに欠かせない施策である。				
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	成人保健課長 細江 松子		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	評価理由	評価日	
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			